

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
【発行日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【公開番号】特開 2012-198375 (P2012-198375A)  
【公開日】平成 24 年 10 月 18 日 (2012.10.18)  
【年通号数】公開・登録公報 2012-042  
【出願番号】特願 2011-62307 (P2011-62307)  
【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 9/00 3 0 4 B

G 0 9 F 9/00 3 4 8 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 6 日 (2014.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気光学パネル部と、

互いに重なるように設けられた第 1 の可撓性基板及び第 2 の可撓性基板と、

前記第 1 の可撓性基板上に載置された第 1 の IC チップと、前記第 2 の可撓性基板上に載置された第 2 の IC チップとを備え、

前記第 1 の IC チップ及び前記第 2 の IC チップは、互いに重なるように設けられていることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記第 1 及び第 2 の IC チップは、それぞれ前記電気光学パネル部に駆動信号を供給する電気光学パネル駆動 IC チップであり、

前記第 1 の可撓性基板と第 2 の可撓性基板との間であって、前記電気光学パネル駆動 IC チップが配置される位置に、空気よりも高い熱伝導率を持った素材が充填されていることを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記第 1 及び第 2 の IC チップを覆う放熱材が設けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

互いに重なるように設けられた第 3 の可撓性基板及び第 4 の可撓性基板と、

前記第 3 の可撓性基板上に載置された第 3 の IC チップと、前記第 4 の可撓性基板上に載置された第 4 の IC チップとを備え、

前記第 3 の IC チップ及び前記第 4 の IC チップは、互いに重なるように設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の電気光学装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

上記課題を解決するため、本発明にかかる電気光学装置は、電気光学パネル部と、互いに重なるように設けられた第1の可撓性基板及び第2の可撓性基板と、前記第1の可撓性基板上に載置された第1のICチップと、前記第2の可撓性基板上に載置された第2のICチップとを備え、前記第1のICチップ及び前記第2のICチップは、互いに重なるように設けられている。

また、前記第1及び第2のICチップは、それぞれ前記電気光学パネル部に駆動信号を供給する電気光学パネル駆動ICチップであり、前記第1の可撓性基板と第2の可撓性基板との間であって、前記電気光学パネル駆動ICチップが配置される位置に、空気よりも高い熱伝導率を持った素材が充填されている。

また、前記第1及び第2のICチップを覆う放熱材が設けられている。

互いに重なるように設けられた第3の可撓性基板及び第4の可撓性基板と、前記第3の可撓性基板上に載置された第3のICチップと、前記第4の可撓性基板上に載置された第4のICチップとを備え、前記第3のICチップ及び前記第4のICチップは、互いに重なるように設けられている。